

平成 29 年度 第 1 回岩手山火山防災協議会幹事会 会議録

1 日 時 平成 29 年 9 月 20 日（水）14：00 ～ 16：00

2 場 所 盛岡市勤労福祉会館 4 階 401・402 会議室

3 参集者 別添出席者名簿のとおり

4 次第

1. 開会
2. 幹事長挨拶
3. 議事
 - (1) 岩手山火山防災協議会規約の一部改正について
 - (2) 岩手山の火山活動状況について
 - (3) 岩手山避難計画の策定について
 - (4) 岩手山火山防災に係る今後の取組について
 - (5) 岩手山火山防災協議会避難計画作業部会 部会長の指名について
 - (6) 岩手山の避難対応について
4. その他
5. 閉会

5 討議概要

(1) 岩手山火山防災協議会規約の一部改正について

- ・ 資料 1 により事務局から説明。
- ・ 質疑なし

(2) 岩手山の火山活動状況について

- ・ 資料 4 及び資料 5 により盛岡地方气象台から説明。
- ・ 質疑なし。

(3) 岩手山避難計画の策定について

- ・ 資料 6、7 により事務局から説明。
- ・ 担当レベルではメールなどで避難計画案の資料をいただいて、検討しているが、よくわからないこともあるので、担当同士や市町村間で情報共有しながら、煮詰めていきたい（雫石町）。
- ・ 避難する場合、広域避難となっているが、難しいと考えている。市の中での避難というのはまず無理と思うので、どのように避難所を指定するのか、皆さんのお知恵を借りながら検討して参りたい（滝沢市）。
- ・ 今回説明した内容をベースに、避難計画を策定していくこととしてよろしいか（事務局）。
→異議なし。

(4) 岩手山防災に係る今後の取組について

- ・ 資料8により事務局から説明。
- ・ 資料8の平成31年度以降のところにある避難確保計画を作成することで、避難計画ができあがるという認識でよいか（仙台管区气象台）。
→資料6の避難計画は協議会でつくる避難計画である。問題はそこから先で、要配慮者施設について、それぞれの施設ごとに、避難確保計画を作成していくということをご示しているところ。（事務局）
- ・ 補足だが、市町村はこれから予算要求の時期だと思う。30年度の予算額については、今後担当レベルで協議しながら進めてまいりたい。（事務局）

(5) 岩手山火山防災協議会避難計画作業部会部会長の指名について

- ・ 岩手山避難計画策定にあたり、岩手山火山防災協議会に設置する避難計画作業部会で検討を進めてまいる。その作業部会長として、岩手大学の齋藤幹事を指名させていただく（石川幹事長）。
- ・ 20年間の経験があるので、尽力したい。皆様のご協力をお願いしたい。（齋藤幹事）

(6) 岩手山の避難対応について

- ・ 15年前の岩手山噴火対応特集番組（IBC：ニュースエコー）を放映後、資料9により齋藤幹事から説明。
- ・ 平安時代以降、岩手山で起こった噴火は未遂3回を含めて9回。西岩手が2回で東岩手が7回。噴火した6回のうち、水蒸気噴火が1回、マグマ噴火が5回。マグマ噴火の前にマグマ水蒸気噴火、噴火の末期に水蒸気噴火が起こっていた事例も分かっている。山頂噴火（活動）が7回で側噴火が2回、いろんなところで噴火している。噴出物については、溶岩が2回、火山灰4回、山体崩壊1回、火山泥流2回となっている。資料は整理させていただくが、9回の活動をみると、同じタイプの噴火はない。特に山体崩壊は危険で、これがおきた事例では、自衛隊岩手駐屯地付近は下敷きになっている。このような過去の事例をみると、どこでどういった噴火が起きるのか予測が非常に難しい。したがって、避難をどのようにスタートさせていくのかはなかなか難しいと思っている。
また、他にも留意しなければならない点が2つある。
1つめは、過去にはいきなり爆発的なマグマ水蒸気噴火が発生し、雪が解け、滝沢の一本木地区が流されている。この特異地域をどういう形で被災しないような計画にしていかがポイントになる。
2つめは、滝沢市の柳沢地区、八幡平市の国際交流村など火山に近く危険な地域に住宅がある。こういったところのいかに早く避難してもらうかがポイントになる。こういったところを計画で具体的に検討したほうがいい（土井幹事）。
- ・ （質問）今の話は、具体的に避難計画を策定するときに、いろんなケースを書き込むというイメージか。
→どういう時にどういったことが起きるのかわかればそれでいいが、岩手山はそれがわからない。早めに逃げる場所があるなどは書いたほうがいいが、どういった計画がいいのかは今後の議論になってくる（土井幹事）。

- ・ 国では、かなり具体的な計画策定の指針をだしているが、すべてを具体的に書き込むことは難しい。実働的にどう動けばいいのかを認識共有しておいたほうがいい。(齋藤幹事)

(7) その他

- ・ 初めての作業部会は県庁界隈のどこかで、11月1日の午後に開催予定。追って、お知らせする。作業部会の進め方について、現在素案を策定している。部会ではこの素案について、検討したい。

また、計画策定にあたり、次回部会までに、関係機関と現地確認して参りたい(事務局)。

以上